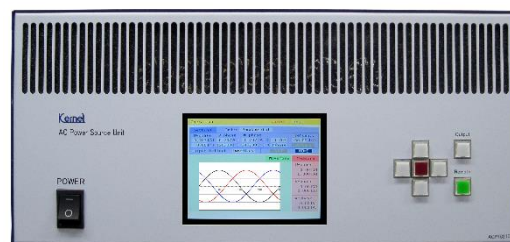


マルチ 交流定電流電源

本装置は、交流電流源として動作する電源装置です。一般的な電圧源とは異なり電流源として動作するので、被試験器のインピーダンスが変化しても、一定の電流値・波形を出力し続けます。ブレーカーの長期運転試験や CT 精度試験、電力メーターの電流入力など、基準電流波形が必要な試験・検証に、適用が可能です。45~66[Hz]で任意に周波数が選べ、また、20 次までの高調波重畳もそれぞれ任意の含有率で設定・出力が可能です。加えて、400[Hz]出力も可能です。

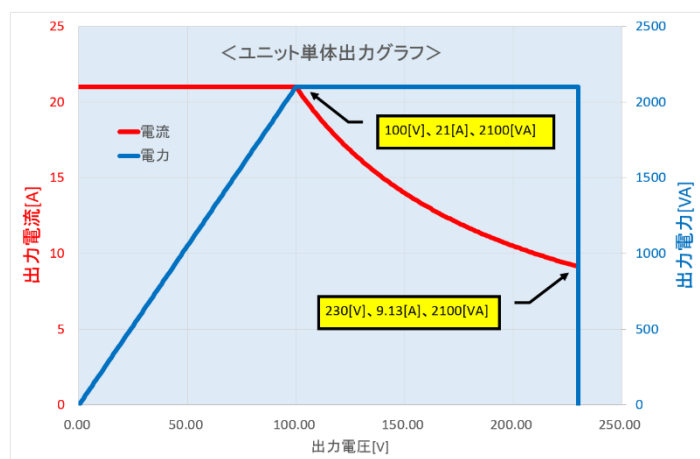
ユニット単体の出力は、最大 230[V]、2.1[kVA]、21[A]で、単相/三相出力の選択ができます。また、複数ユニットでの並列接続や、ユニット間同期、及びそれによる 3 相出力も可能で、大容量のシステム構築も可能です。



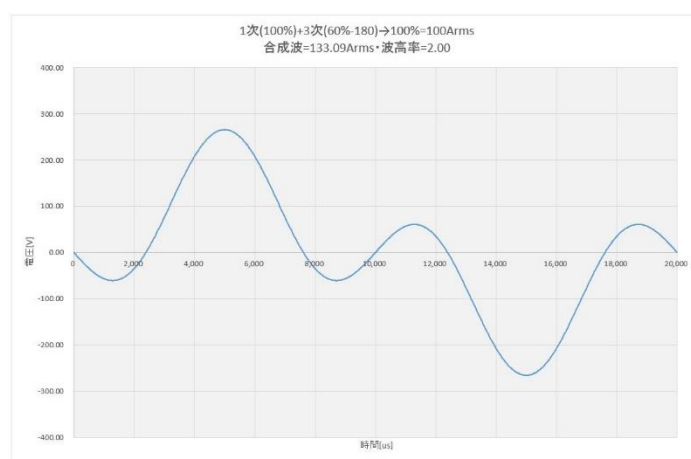
ユニット単体外観(前面)

特徴

- ✓ 定電流源として動作する交流電流電源なので、被試験器のインピーダンスが変化しても、一定の電流を流し続ける。
- ✓ 短絡状態でも定電流源として動作するので、虚負荷試験時、最小限の電源電力で、大電流の試験が可能。
- ✓ 回路 Open を自動検知し、瞬時に停止する、緊急停止機能を具備。
- ✓ ユニット単体で、最大 230[V]、2.1[kVA]、21[A]、45~66, 400[Hz]出力。
- ✓ 複数ユニットでの並列運転が可能で、大規模システム構築が可能。また、ユニット間の位相ずらし運転も可能。
- ✓ 総合歪率 0.5%以下(定格出力時)の低歪率の電流波形が出力可能。
- ✓ 45~66[Hz]では 20 次までの高調波を、位相を含めて任意に設定・出力できる。
- ✓ 別途トランスを接続する事で、1000[A]以上の出力も対応可能(オプション)。
- ✓ 制御用ソフトウェアにて、スケジュール運転やデータロギング機能を具備する。



ユニット単体出力グラフ

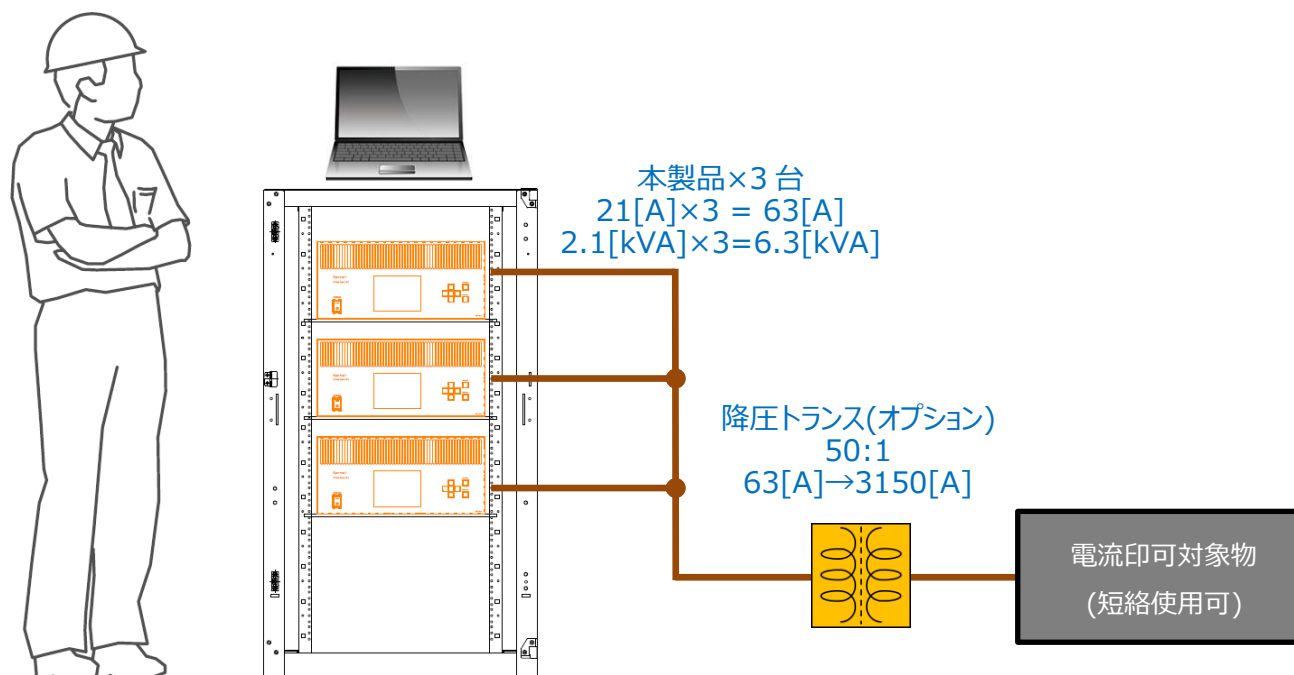


高調波含有、出力波形例

ユニット仕様諸元

項目	仕様
製品名称	マルチ交流定電流源
型名	ACP16210
絶縁	入出力間 高周波絶縁
最大出力範囲	21[A]、230[V]、2.1[kVA]、45~66、400[Hz]
定格出力	60[Hz]、21[A]、100[V]
ユニット間接続	最大 21 並列可能 (ユニット間専用同期接続)
通信	LAN 接続(専用ソフト)
制御精度	制御精度±0.5% F.S. 計測精度±0.5% F.S. 総合歪率 0.5%以内 (定格出力時)
入力条件	単相 180~220[V] 50/60Hz
消費電力	3.0[kVA]以下(定格出力時の力率 90%以上)
外形寸法	430(幅)×450(奥)×200(高)
質量	20[kg]以下

システム構成例



日本カーネルシステム株式会社 <http://www.kernel-sys.co.jp/>

大阪本社 〒540-0036 大阪市中央区船越町 1 丁目 6 番 6 号 レナ天満橋 TEL:06-6941-0427 FAX:06-6943-7204

福島支店 〒963-0215 福島県郡山市待池台 1 丁目 12 番地ハイテックプラザ技術開発室 7 号 TEL:06-6941-0427 FAX:06-6943-7204